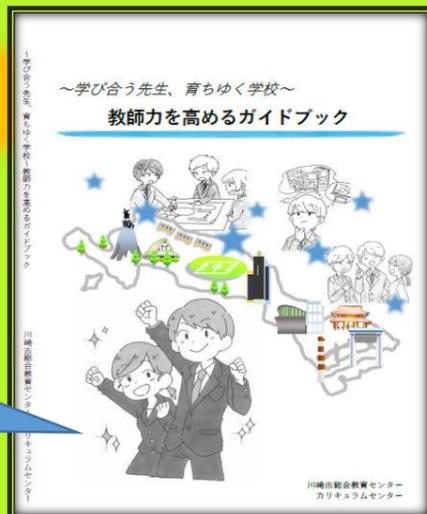


OJT 充実アイテム①

ガイドブックの活用

平成31年4月に配布した「～学び合う先生、育ちゆく学校～教師力を高めるガイドブック」に、**具体的なOJTの取り組み例**を記載しています。
(サインズにも掲載されています。)

広げよう！
OJT



OJT 充実アイテム②

校外研修の活用

総合教育センターでは、**教員育成指標**に基づき、「**学校の教育力の強化**」につながる様々な研修を計画しています。一人一人が受講した研修の内容が、個人の教師力を高めると同時に、OJT に生かされることが大切であると考えています。

受講した研修内容を校内で共有する機会を設けたり、研修を通して学校の諸課題の解決を図ったりする等、校外研修を効果的に活用しましょう。

OJT 充実アイテム③

「授業改善シート」の活用

シートは、令和2年度のライフステージ研修（主に中堅教諭等資質向上研修）で使用します。研修開始後には、各学校で使用できるようにサインズに掲載します（5月頃掲載予定）。

お互いの授業を見合う際に、授業者と参観者で**授業の視点を共有**しておくことが大切です。このことは、授業者だけではなく、**参観者の学び**にもつながります。

「授業改善シート」は授業の工夫改善のポイントとなる項目を示し、空欄には、学校の教育目標や校内研究テーマに応じた授業の視点を入れ込む等、学校独自のシートとして日常的に活用できる構成になっています。お互いの授業改善に役立てましょう。

- シートは全4種！
- ① 全教科等共通用
 - ② 道徳科
 - ③ 特別活動
 - ④ 総合的な学習の時間



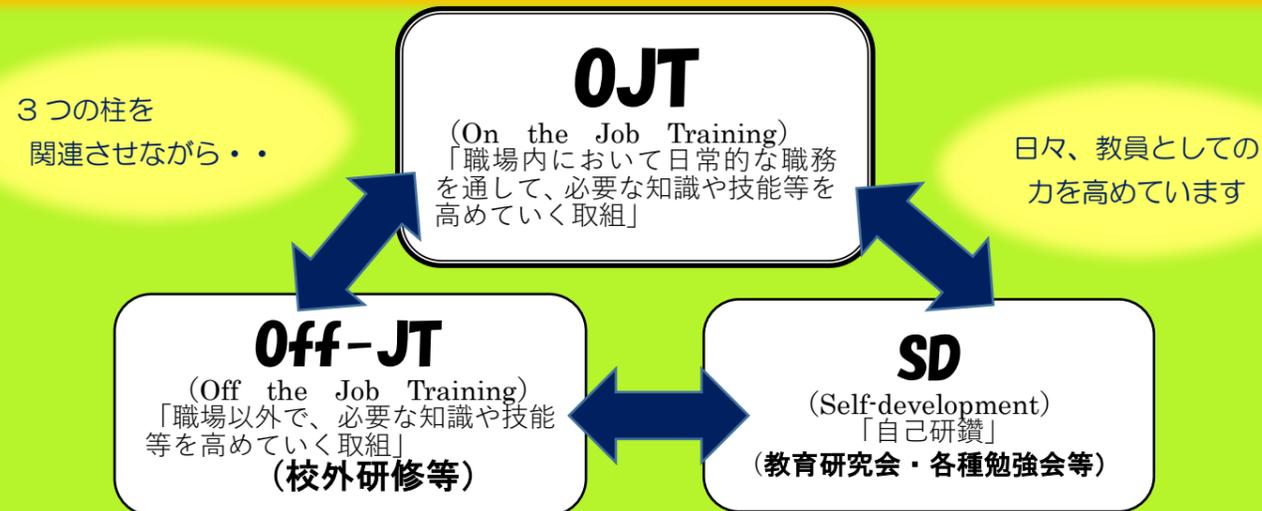
今までも…、これからも…

学校では、従来からお互いに授業を見合って研究するという取組を積み重ねてきています。

この取組は、海外からも高く評価されていて、校内の管理職や同僚からの支援やフィードバックを受けることができるとても有意義なOJTの1つです。

学び合う先生、育ちゆく学校 教師力を高めるOJT

教員としての力を高める3つの柱は「OJT」「Off-JT」「SD」



「教員は学校で育つ」という視点で、「OJT」はとても重要です

OJTは校内で組織的に行うものから、日常業務の中で無意識に行われるものまで、様々な形があります。大切なのは、これらを**意図的・計画的**に行っていくことです。

学び合いで



高まる組織力

「どの場面で?」「どんな方法で?」 先生方のOJTを進める上での課題は何でしょうか。
川崎市内には充実したOJTを推進している学校があります。

市内での具体的なOJTの事例を紹介!

川崎市総合教育センター
カリキュラムセンター
令和2年3月

各学校の特色や実態に応じて、様々な形態でOJTが行われています。その根底にあるのは、教員一人一人の主体的に学び続ける姿です。

OJT 充実のための共通ポイント

担当者が
明確

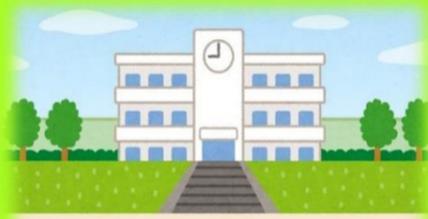
目標の
共通理解

話しやすい
雰囲気

ベテランの
調整力

管理職の
参加や助言

各学校のOJTの
キーポイントです



プロジェクトチームが 学校を動かす -OJT を意識した校務分掌の取組- 富士見台小学校

学校教育目標の実現のために、「ヒューマンリソース」「特別支援」「生活指導」「安全指導」「心の育成」のプロジェクトチームが、各分野の課題解決に向けて取り組んでいます。

- 各チームのキャップは総括教諭
- 研修講師は校内教員
- 育成指標の意識



各プロジェクトチームのキャップは総括教諭が務めます。中でも「ヒューマンリソース」では、「教員のスキルを高める」「教員の共通理解を図る」を目標に教員研修を実施しています。研修の内容は部会で検討し、「外国語」「プログラミング」「特別支援教育」等について実施しています。講師は外部から呼びだすだけでなく、校内で各研修テーマについて研修研究を深めている教員が務めます。

また、校内では教員育成指標を意識し、校内研究の協議のグループを、ステージⅠⅡⅢの教員をバランスよく配置する等の工夫もしています。

校内研究を盛り上げる - 学び愛（あい）部会の取組 - 南生田小学校

若手、中堅、ベテランの教員がそれぞれの立場で積極的に意見を出し合いながら、校内研究を盛り上げています。その核となっているのが「学び愛（あい）部会」です。

- 校内研究の活性化
- ミドルリーダーが活躍
- 部会への主体的な参加

「学び愛（あい）部会」は、隔週火曜日の放課後に開催され、日々の授業づくりや次の研究授業に向けての話し合いや、日常の授業の中で生まれた素朴な疑問の共有等を行っています。参加メンバーは固定されておらず、各教員が主体的に参加し、部会で話し合われたことは学年会等を通して全職員で共有されています。

部会での協議は、ミドルリーダーがベテラン教員から助言を受けながら、経験の浅い教員でもわかりやすい内容となるように工夫しながら、活気のある雰囲気をつくり出しています。



若手を組織的に育てる - OJT 推進委員会の取組 - 今井中学校

若手の教員を組織的に育て、学校全体の教育力の向上を図るため、「OJT 研修」を毎月の職員会議後に開催しています。

- 若手教員の育成
- 知識や技能の伝達の間
- 職員会議後に開催



教務主任と各分掌の主任で構成する「OJT 推進委員会」を設置しています。若手教員にベテラン教員の知識や技能を伝えていくことや「確かな教育力」を育てることをねらいとし、「学級経営」「生徒指導」「学校行事の指導」等、その時期に適した内容でOJTを推進しています。

対象者は初任者や2・3年目教員、臨時的任用教員、非常勤講師ですが、全職員が誰でも参加できます。講師となるミドルリーダーやベテラン教員にとっても、自分の指導を見直すきっかけとなり、有意義な時間となっています。

授業改善を目指す - ちょこっと参観の取組 - 中野島中学校

校務分掌の「学習指導部」が中心となり、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、お互いの授業を参観する取組を行っています。

- 短時間で参観
- 参観メモの活用
- 授業改善の共通の視点

校内巡回の時間等を利用して、教科を超えて互いの授業を見合う「ちょこっと参観」を行っています。参観者は共通の参観メモに、意識した視点や感想等を記入し、授業後にその内容について授業者と共有します。参観メモを使用することで、全員が共通した視点をもって授業改善に向けて話し合うことができます。

参観メモは職員室の共有スペースにあり、いつでも自由に、参観メモを使って参観しています。日常的に、無理なく取り組むことができます。

